

2023年12月期 第1四半期

決算説明会

2023年5月15日

ヤマハ発動機株式会社
(証券コード：7272)



電動トライアルバイク 「TY-E 2.1」

全日本トライアルで初めて電動トライアルバイクのフル参戦 ラウンド1で5位入賞

2023年12月期 第1四半期決算

取締役 設楽 元文

業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

実績

増収・増益

- 過去最高売上高・営業利益・営業利益率を達成
売上高6,065億円（前年比126%）・営業利益728億円（同182%）
- 二輪車・マリン：需要堅調かつ、生産・出荷増加で増収・増益
- ロボティクス：半導体・中国市場低迷により、減収・減益

2023年の展望

事業環境

- 欧米経済の不透明感継続
- 新興国は多くの国で経済回復が進む

市場

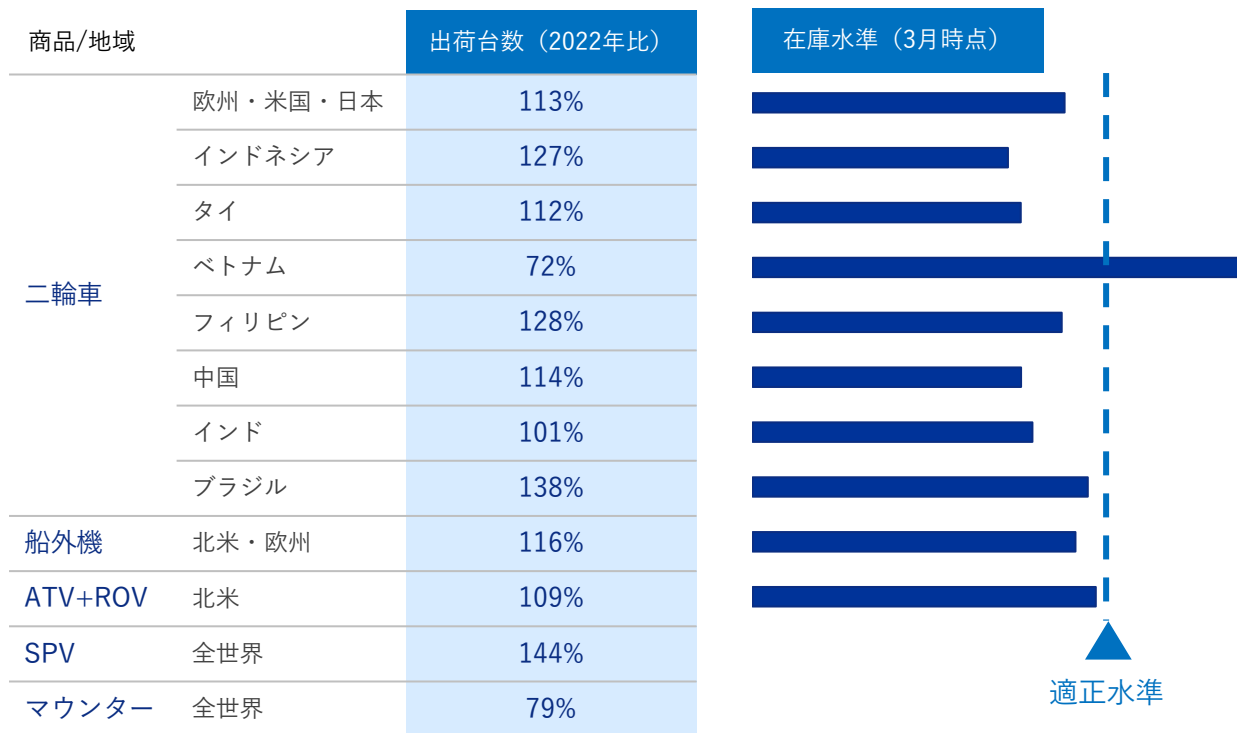
- 新興国二輪車、大型船外機の堅調な需要続く
- SPV市場は緩やかに成長、ロボティクス市場は下期から回復

収益力強化

- 損益分岐点経営の推進継続

主要商品別 当社出荷台数（1-3月実績）

二輪車需要堅調。主要国出荷台数増加。プレミアムスクーターは品薄状態継続。
船外機は、大型モデルの需要堅調で出荷台数増加。



二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫。

2023年1Q 経営状況

二輪車・マリンでの販売増加により、増収・増益。
規模増加に加え経費効率の改善により、過去最高の営業利益率を達成。

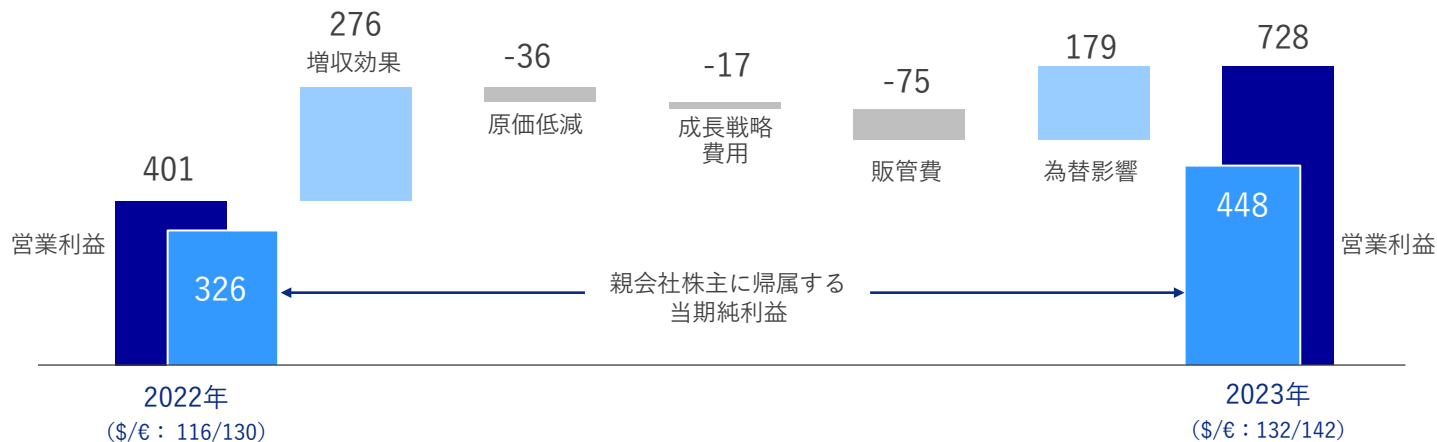
(億円)	2022年 1Q	2023年 1Q	前年比	2023年 年間計画	前年比
売上高	4,817	6,065	126%	24,500	109%
営業利益	401	728	182%	2,300	102%
営業利益率	8.3%	12.0%	+3.7pts.	9.4%	-0.6pts.
経常利益	457	717	157%	2,300	96%
当期純利益※	326	448	137%	1,600	92%
EPS (円)	94.30	132.50	146%	473.1	92%
(\$/€)	116/130	132/142	—	125/135	—
(\$/IDR/BR\$)	14,275/5.2	15,134/5.2	—	15,500/5.3	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2023年1Q 営業利益変動要因

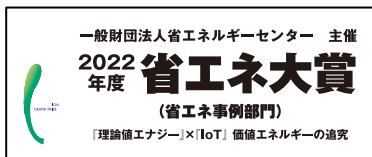
規模増加に加え、値上効果拡大。販管費抑制により大幅増益。

(億円)



増収効果内訳				原価低減内訳		販管費内訳	
規模増加	+143	値上	+230	コストダウン	+52	人件費	-17
ミックス・他	-177	未実現影響	+94	コストアップ	-89	物流費	-6
		金融サービス	-14			営業費用	-17
						その他	-34

カーボンニュートラル実現に向けた取り組み



改善コストゼロで
従来比▲32%の省エネ実現



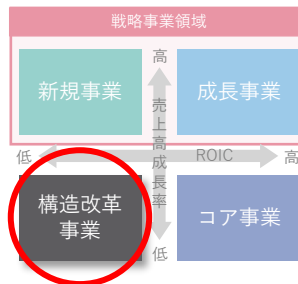
環境負荷の少ないサステナブル材採用
CO₂排出量6~8割削減（当社算出）



CO₂を吸着する微生物研究
ベンチャーへ出資

事業構造改革の進捗

汎用エンジン・発電機・除雪機の
事業譲渡契約締結に向け協議中



事業別説明

事業別 売上高・営業利益 (1Q)

売上高

(億円)	2022年	2023年	前年比
ランドモビリティ	3,154	4,006	127%
(内) 二輪車	2,777	3,479	125%
(内) RV	256	379	148%
(内) SPV	121	147	121%
マリン	1,087	1,461	134%
ロボティクス	262	198	75%
金融サービス	128	179	140%
その他	186	222	119%
全社	4,817	6,065	126%

営業利益

(億円)	2022年	2023年	前年比
ランドモビリティ	122	337	277%
(内) 二輪車	124	274	220%
(内) RV	-3	51	-
(内) SPV	-0	13	-
マリン	204	380	186%
ロボティクス	37	-5	-
金融サービス	44	16	37%
その他	-6	-0	-
全社	401	728	182%

(\$/€) 2022年 (116/130) 2023年 (132/142)

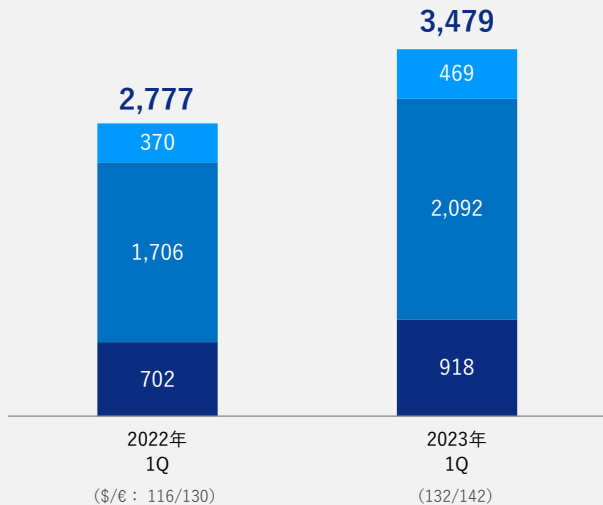
二輪車事業

全地域で販売増加。
規模増加と販管費抑制により利益率改善。

営業利益率 **4.5%** **7.9%**

売上高 (億円)

■ 先進国 ■ アジア ■ 中南米・その他



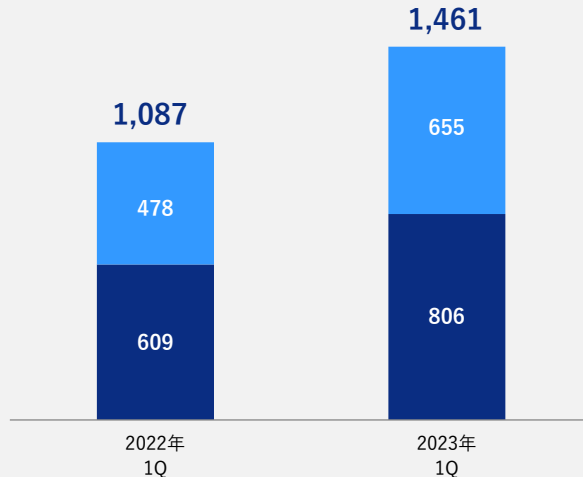
マリン事業

先進国大型船外機の需要堅調。
WVの出荷も増加し、売上高・営業利益率向上。

営業利益率 **18.7%** **26.0%**

売上高 (億円)

■ 船外機 ■ WV・ボート等



最大馬力の船外機
「F450A」北米市場で発売

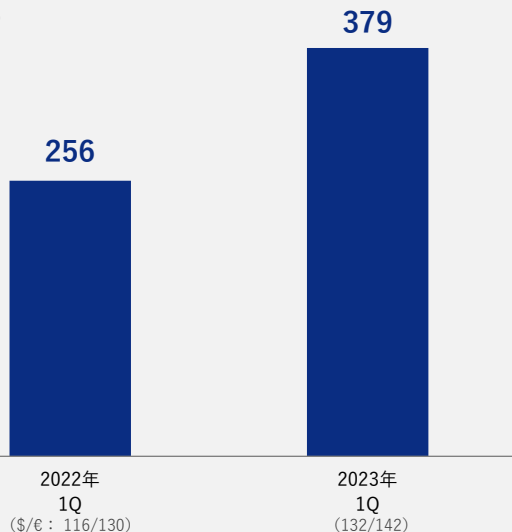


RV事業

ROVの販売増加。生産効率改善で高い利益率を達成。
需要減退と競争激化を注視。

営業利益率 **-1.0%** **13.3%**

売上高 (億円)

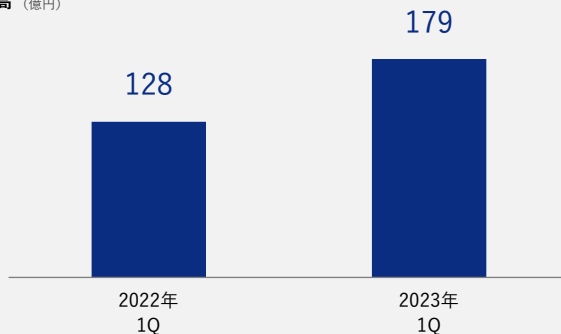


金融サービス事業

全地域で債権残高が増加し、増収。
調達コスト及び、
債権拡大に伴う貸倒引当の増加で、利益率悪化。

営業利益率 **34.7%** **9.1%**

売上高 (億円)



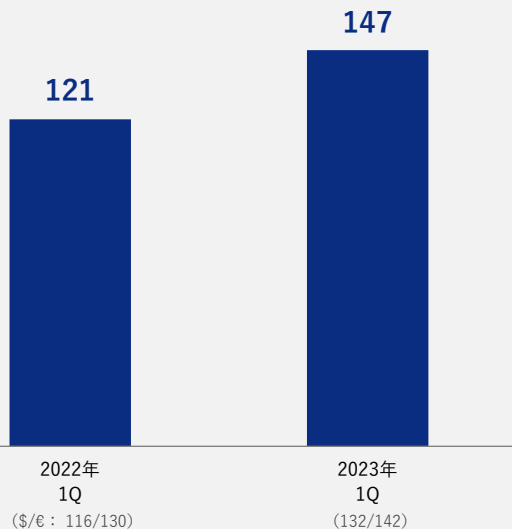
期末債権残高 (億円) **4,235** **5,753**
(\$: 122) (134)

SPV事業

前年の部品不足・物流遅延に対し、販売増加。
加熱した需要の一服感に伴い、生産調整予定。

営業利益率 **-0.1%** **8.9%**

売上高 (億円)

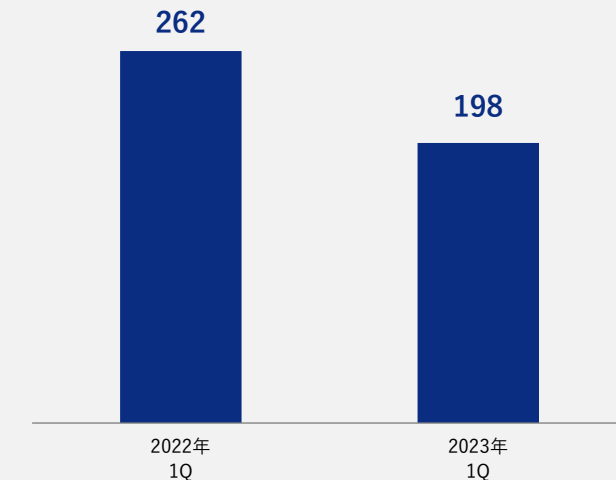


ロボティクス事業

半導体・中国市場の回復遅れ。
新製品導入と車載需要の取り込みにより挽回。

営業利益率 **14.1%** **-2.3%**

売上高 (億円)





地域別台数・売上高（1Q）

二輪車出荷台数

(千台)	2022年	2023年	前年比
日本	23	21	90%
北米	14	26	191%
欧州	51	55	107%
アジア	905	1,028	114%
その他	143	144	101%
全社	1,136	1,274	112%

二輪車売上高

(億円)	2022年	2023年	前年比
日本	142	113	80%
北米	112	236	211%
欧州	406	527	130%
アジア	1,706	2,092	123%
その他	412	511	124%
全社	2,777	3,479	125%

マリン売上高

(億円)	2022年	2023年	前年比
日本	83	72	86%
北米	635	916	144%
欧州	190	197	104%
アジア	48	103	217%
その他	130	173	132%
全社	1,087	1,461	134%

ロボティクス売上高

(億円)	2022年	2023年	前年比
日本	61	58	96%
北米	9	5	61%
欧州	23	22	95%
アジア	167	111	66%
その他	3	1	41%
全社	262	198	75%

(\$/€) 2022年 (116/130) 2023年 (132/142)

財務状況

(億円)	2022年 1Q	2023年 1Q
営業活動によるCF	-125	16
投資活動によるCF	69	-227
フリーCF	-57	-212
財務活動によるCF	279	580
現金及び現金同等物 期末残高	3,030	3,380
有利子負債 期末残高	5,363	6,942
ネットキャッシュ	-2,333	-3,562
ネットキャッシュ（販売金融除く）	843	979
設備投資	150	155
減価償却費	135	152
研究開発費	253	252

為替影響（対前年）

(億円)	1Q (3ヶ月)			
	US \$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	67	36	14	117
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	22	22
粗利益の換算影響（海外子会社）	38	14	46	98
販管費の換算影響（海外子会社）	-24	-10	-24	-58
営業利益への為替影響	81	41	57	179

(億円)	US \$	EURO
為替感応度	4	3
1円の変動が営業利益に与える影響額		

